



発行日：平成28年 1月 5日
発行者：市原市更級5丁目1-51
市原市立中央図書館
よくよむ
Tel 0436 (23) 4946
http://www.library.ichihara.chiba.jp



あけましておめでとうございます
本年も中央図書館をよろしくおねがいします



～文学講座・特別講演会のお知らせ～

世界経済・日本経済の展望

講師：野口 悠紀雄 氏

多数の作品を世に送り出し、国内外の経済関係等幅広い情報を発信される野口悠紀雄氏にご講演していただきます。

日時：平成28年2月10日（水）
午後2時～3時30分（午後1時開場）

会場：市原市市民会館 小ホール

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

定員：400名（手話通訳あり）

※要事前申込・先着順・受付中です。

【申込・問合せ先】市原市立中央図書館 電話：23-4946

休館・休室のお知らせ

市内の読書施設では、皆さまが、必要な資料をスムーズに利用できるよう、全資料の状態、所在を確認する「蔵書点検」を実施しております。

このたび、以下の施設で蔵書点検を実施するため、その間お休みさせていただきます。

貸出を希望される方は、ご不便をおかけいたしますが、市内の他の読書施設をご利用ください。なお、以下の施設であっても、返却ポストへの返却は可能です。（紙芝居や大型絵本、視聴覚は除く）

休館・休室施設	休館・休室期間
中央図書館	平成28年 2月25日（木） ～平成28年 3月 2日（水）
有秋・八幡・加茂公民館図書室 ちはら台・菊間・三和コミュニティセンター図書室	平成28年 2月29日（月） ～平成28年 3月 4日（金）

「図書館iらんど 2015」たくさんの方にご参加いただきました！！

(開催期間 10月17日～11月8日)

図書館iらんど 2015

▶▶この本が未来を開く1冊に！



＜スペシャルライブラリアン ジェフレディース in 市原市立中央図書館＞

1日図書館長：三上尚子監督

1日図書館員：櫻本尚子選手（キャプテン）・川村真理選手・深澤里沙選手

今回のジェフユナイテッド市原・千葉との連携企画は、ジェフレディースから4名が来てくれました。児童室のカウンターで貸出や返却をしたり、絵本を読んでくれたり大活躍！その後は読書感想画コンテストの表彰式にもプレゼンターとしても参加してくれました。2日後のゼットエーオリプリスタジアムでの試合では川村真理選手のゴールで勝利！図書館に来て試合を見に行った子どもたちには良いプレゼントになったかな？

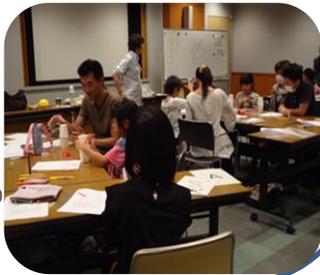
＜本と雑誌のリサイクルフェア＞

図書館で古くなった本と、保存期限の過ぎた資料等を無料配布しました。会場内では、児童書から実用書、ご自由にお持ち帰りいただく雑誌まで幅広いジャンルが揃い、**445名**の方にご参加いただきました。お持ち帰りいただいた冊数は本と雑誌合わせて、**7,379冊**でした。まだまだほしいと思った方、まだ一度も参加されたことの無い方など、ぜひ来年度もご参加をお待ちしております。

＜科学あそび＞

科学読物研究会の坂口美佳子先生を講師としてお招きし、科学あそびを開催しました。

午前の部「羊のおくりもの」では、刈り取られた1頭分の羊毛に子どもたちも興味津々の様子。最後に、羊の毛を使ってフェルトボールをつくりました。午後の部「ゴムのじっけん」では、ゴムの性質について学びながら、紙コップを使ったおもちゃ「ブルブルくん」を作りました。先生の楽しいお話と工作で、あっという間の2時間でした。



＜歴史講座：

国分寺台の遺跡調査と上総国府推定地＞

毎年恒例となっている「歴史講座」。今年度は、数多くの市原の歴史解明に重要な遺跡の発掘調査を行ってきた浅利氏を講師にお招きし、約90分間お話しをいただきました。

事前申込者数は定員に達し、講座終了後には質問をされる方が見られました。「今後の研究動向が知りたい」といった声も聞かれ、講座前の期待度、講座後の満足度とも非常に高い講座となったようです。

賞	学校名	学年	氏名	読んだ本の題名
市長賞	湿津小学校	6年	御園 葉月 さん	モモ
教育長賞	石塚小学校	2年	奥山 あかり さん	みいつけた！しおだまりのちいさないきもの
優秀賞	市東第一小学校	1年	水野 雨色 さん	ちからづよいパワーショベル
	海上小学校	3年	竹下 日向多 さん	ドリトル先生アフリカゆき
	清水谷小学校	3年	野田 竜成 さん	エルマーのぼうけん
	国分寺台小学校	4年	堀口 真佳 さん	動物と話せる少女リリアーネ スペシャルII
	国分寺台西小学校	6年	吉田 央芽 さん	パラレルワールド
	五井中学校	3年	齋賀 美紀 さん	こども電車
優良賞	青葉台小学校	2年	今井 凜 さん	木にとまりたかった木のはなし
	京葉小学校	2年	下村 留生 さん	くすのきだんちのなつやすみ
	市東第一小学校	3年	藏野 煌莉 さん	星の声に、耳をすませて16歳の寺子屋
	光風台小学校	4年	赤松 桜空 さん	床下の小人たち
	有秋中学校	1年	神田 祐衣 さん	夏の朝
	国分寺台中学校	3年	笠原 楓悠 さん	ラリルレ論
学校奨励賞	有秋中学校			



子ども読書感想画コンテスト結果発表！

中央図書館では、市内の小・中学生を対象に、本を読んで感じたことを自由に表現した「読書感想画」を募集して、コンテストを行っています。本の世界を想像し、絵で表現することで、より深い読書体験が得られるはずです。今年度は全部で239点の応募がありました。来年も、素敵な作品をお待ちしています！！



市長賞「私の時間工場」
湿津小学校 6年 御園 葉月 さん

拝啓 遠山あき先生

～いってらっしゃい～

あき先生、「あの世」とやはいかげですか？新しい生活には、もう慣れましたか？

先生がそちらの世界へ逝かれて、もうふた月が経つのですね。早いものです。

こちらはみな、相変わらずのてんやわんやで暮らしています。

特に、「困ったときの“あき”頼み」で暮らしてきたボクは、大層不便な毎日を送っています。なにせ、ボクときたら、教えを請うのにご自宅に伺いもせず、いつも電話で済ませていましたからね。それでも先生は、いつでも、丁寧に教えてくださいましたね。

ただ、今だから白状しますが、あれでも少しは遠慮していたのですよ。だって、ボクが電話すると、「わたしも、あなたに聞きたいことがあったのよ」とつぎつぎと、質問攻めにあいましたからね。専門的なことでも、かまわず、納得のいくまで勉強される姿勢は、本当にあたまのさがる思いでした。昔の山道を尋ねて、先生とふたりで歩いたこともありましたね。徹底した現場主義に、小柄ながら、屈強な精神と、強靱な体力の持ち主だと、心中おどろいていました。でも、それこそが、先生の小説や研究の源泉となっていたのですね。亡くなられた年に発刊された『「榎」文学選集・第Ⅳ集』の編集後記に、「書く作品自体のみずみずしさは文章に欠くことのできない魅力です」と記しておられたのを思い返しています。『選集』は、同人誌『榎』に載せた作品の中から、お気に入りのものを選んだものです。先生が最期に選ばれたのは、開拓牧場を舞台とした「戸来の風」でした。あの作品は、読者に、まだまだ苦難はこれから始まるのだと予感させたところで終わっていく。人生は、めでたしめでたしでは終わらず、日々が続いていくことのリアリティを、遠山文学は常に、我々につきつけている。終わらない自己との戦い。それはある意味で、先生ご自身の人生だったのかもしれないね。先生が逝かれて二日後の新聞に、たくさんの方々の惜しむ声が載せられていました。小湊鉄道の石川晋平社長の「残念の一言」というのが印象的でした。いまでも、だれもがそう思っています。でも、あの頃、先生の死を、誰よりも早く「残念」に思っていたのは、先生ご自身ではなかったのかと、ボクは密かに思っているのですよ。まだまだ、行きたいところも、やりたいことも山ほどあったに違いありません。「これでよかった」と思うことはありません。」という先生の一言が、ボクの胸に突き刺さってきます。でも今は、先生の魂が体を離れたのですから、どうぞ、いくらでも行きたいところへ出かけてきてください。ボクたちは笑顔で、「いってらっしゃい」と送り出して差し上げたいと思います。そして、先生の作品でも読みながら、またお目にかかれる日まで、それぞれの人生を暮らしていきたいと思います。

(記 たま)

ふるさと市原に輝く人物コーナー 第3弾

「遠山あき」追悼展

平成27年10月28日に逝去された農民作家・遠山あきさんは、昭和19年に市原市田淵に居を移され、農業の傍ら自然、地域に根差した執筆・文化活動が続けてこられました。

今までに出版された著作物やエッセイ等を掲載した『房総及房総人』・『シティライフ』等を展示しています。

また、遠山あきさんへのメッセージをお受けしています。(後日、ご家族へお届けします。)

「遠山あき」追悼展は、「郷土行政資料コーナー」のほか2階「展示ケース」でも実施しています。

展示期間 平成28年1月24日(日)まで

主な展示資料

<図書>

- ・『鷺谷』元就出版社(農民文学賞受賞作品「鷺谷」・千葉文学賞受賞作品「雪あかり」所収)
- ・『小湊鉄道の今昔-レールは人生を乗せて-』斎書房(「ちばの100冊」選)

<雑誌>

- ・『榎』(文学同人誌:顧問を務めた)



～中央カウンター編～



中央カウンターは、資料の問合せや貸出・返却、予約・リクエストの受付、利用カードの発行等、幅広く行っている総合カウンターです。

ここでは、「他にこんなサービスもありますよ」という内容で、紹介します。



自動貸出機

中央カウンター前に2台の貸出機があります。

ご利用は、資料の“貸出”のみとなりますが、カウンターでの待ち時間が少ないことやお客様自身で“貸出手続き”ができる等メリットがあります。

ご利用時にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか？



パソコン専用机

お客様がご自宅等からパソコンを持参し、ご利用いただく専用机です。

各席にある番号札をカウンターまでお持ちいただき、手続きとなります。

ご利用の際は、図書利用カードをご持参下さい。利用時間は受付から2時間まで、延長1時間の最大3時間まで可能です。(他に利用されている方がいない場合)

*カードのない場合は、身分証で確認させていただきますので、ご了解下さい。



傘のレンタルサービス

図書館利用時に急に雨が降って、お帰りに困ったことはありませんか？

そんなときは、“傘のレンタルサービス”をご利用下さい。

貸出期間は2週間です。次回の資料の返却と一緒にご持参いただけますので、大変便利なサービスです。



*ご紹介したことやその他でも、ご不明な点等ございましたら、ご遠慮なくお気軽にカウンター職員までお声かけ下さい。



《中央図書館利用案内》



★開館時間 午前9時30分～午後5時
※水・金曜日は第1・第2フロアのみ午後7時まで ただし、祝日の場合は除く
※児童室・視聴覚コーナーは全日午後5時まで
★貸出冊数・貸出期間
図書・雑誌 10冊まで
視聴覚資料 2点までいずれも2週間

★休館日 毎週月曜日
毎月平日最終日(月末図書整理日)
特別整理期間(蔵書点検等)
年末年始(12月29日～1月3日)
★初めてカードを作るには
住所氏名の確認できるもの(運転免許証等)をお持ちください。